

ボランティアの心

目に見える子どもの成長が励み

〈わ〉東灘区会から、発達障害の子どもが通う

「なかよし学級」の先生を支援するボランティアの依頼があり、出身校に恩返ししたいと引き受けました。毎週1日、登校から下校までと校外学習の支援です。4年半の間、延172日13人の子供たちに寄り添い、過ごしました。体験談をK君に絞ってまとめてみました。

初めて会ったのは、K君が2年生の時。教室では大声で騒ぐ、運動場では逃げ回る、物は壊すなど集団行動が出来ず、人とのコミュニケーションが出来ない状態。私は朝から下校までフォローに明け暮れていました。

なかよし学級では、あさわく会の朝礼があり、この機会にリーダーシップや音楽など集団行動の



躰けが行われており、子供たちが徐々に成長していく姿が見られました。学習支援や運動支援、交流学級での立会、校外学習での付添など遊びも含めてすべてが成長に向けての教育です。

K君6年生の時、修学旅行で奈良の若草山に登りました。卒業式では、順番に卒業証書を受け、長時間の歌の発表にも一人で対応でき、うんと成長した姿が見れ、うれしくて涙が出ました。

ボランティアで大切なのは、体力、優しい心、待つ姿勢です。やりがいの子供たちの成長が目に見えることでした。この度、体力の限界を感じ、終了としました。いいチャンスを与えていただき、有難う御座いました。仲間の皆さんもなかよし学級支援に、一度チャレンジされることを期待しています。

(堤 健・生9期 東灘区会)

活動レポート

北区会 老人福祉施設で整髪ボラ

北区会の有志ボランティアは、6月10日しあわせの村内の老人福祉施設「神港園」で、お年寄りの入浴後の整髪サービスを実施しました。同区ボランティアセンターから、平成15年に依頼を受け、グループを作り、活動を始めました。

毎週火曜日、入所者20人がお風呂からあがった後、ドライヤーで髪を乾かし、水分補給のため、お茶をサービス・食事介助も行っています。



同23年、水曜日も通所者20人へのサービスも始めました。現在、10人でローテーションを組み、活動していますが、欠員ができた時の員数合わせに苦労しています。

利用者さんから「ありがとう。さっぱりして気持ちが良い」と感謝された時には、心底うれしくなります。みなさまのご協力をいただき、今後も続けてまいります。ご協力いただける方はぜひ、下記にご連絡下さい。

(グループ代表 淡路忠義＝福5 TEL078-592-8448)

須磨区会がお年寄りの

新緑散策に付添い

須磨区会では5月18日から22日まで、延べ15人のボランティアを動員、名谷すみれ苑デイサービス利用者を毎日10人づつ、新緑の舞子公園の散策にお連れしました。

5月18日、車いすの5人と一人でも歩ける5人が施設の



バスに乗り込みました。久しぶりの遠出とあって、「あれ、こんな建物ができてる」などと30分のバスツアーを楽しんでいました。ボランティアは、車いすを押したり、歩ける人には支えてあげながらゆるい坂道を登ります。あずまやで一服すると目の前には海が広がり、明石海峡大橋がのしかかってきました。このスポットで全員の記念撮影。昼食はレストランで、「ああ、おいしかった。満足、満足」。お年寄りの笑顔に、ボランティアもうれしくなりました。須磨区会はこの新緑散策と併せ、名谷すみれ苑で初詣で、お花見、紅葉狩りと、年4回の付添いボランティアを10年以上続けています。

(須磨区会 永野知己)